※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８度　数学科

教科	数学	科目	文系数学演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　メジアン数学演習 1ⅡABC（ベクトル）受験編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では共通テスト形式の入試問題演習を通して、数学ⅡＢＣ(ベクトル)のそれぞれの分野における基礎的または発展的な内容を学ぶことで、数学的技能の向上や、思考力の醸成を目的としています。扱う問題はより深く、複雑になりますが、しっかりと授業の内容を身につけることで、共通テストに対応できる力を身につけることを目的としています。
毎回の授業の復習を必ずするようにしましょう。また、復習をしっかりできるようにするために分からない部分はその日のうちに質問するなどして解決するようにしましょう。

2　学習の到達目標

数学ⅡＢＣに登場する種々の関数や微分積分、数列、ベクトル等の基本的内容の知識や技能を定着する。思考力の問われる総合的な問題に対して、論理的に表現できる力を身につける。そして、身近に使われている数学的な事象について興味関心をもち、学んだことを主体的に生かして、その事象を理解できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅱまたは数学Ｂ、数学Ｃの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学Ⅱまたは数学Ｂ､数学Ｃの内容を活用して事象を論理的に考察する力,事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に 考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明 瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度､問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価･改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学ⅡBC	・数学ⅡBCの問題演習	c:自分で問題を分析することができる。 a,b:問題に対して解決の手がかりを見つけ出せる。 c:自分で問題を分析することができる。 a,b:自ら入試問題を考え、解答に到達することができる。 c:復習をくり返すことで、実践力を身につける。 b:時間を意識しながら問題に取り組むことができる。	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト	・授業態度 ・課題提出 ・小テスト	・授業態度 ・課題提出 ・課題内容
後期						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度